患者さんパンフレット

四国がんセンター
頭頸科・甲状腺腫瘍科

私たち医療スタッフは

Ⅰ　入院や手術に対する不安を軽減し、最良の状態で
治療が受けられるようにお手伝いいたします

Ⅱ　手術後の苦痛を軽減し、合併症を起こさず
順調に回復され安心して退院を迎えられるよう
お手伝いいたします

甲状腺全摘術を
受けられる方へ

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿さま

主治医

受け持ち看護師

2021年10月6日　作成
2024年2月28日　改定

手術までに準備していただきたいこと

- 他の病院で処方され、現在服用している薬がある方は、入院時に必ずお持ちください（入院中は原則、他の病院の受診ができないため、入院期間を含め余裕をもってお持ちください）
- お薬手帳をお持ちの方は、入院時に必ずお持ちください
- サプリメントを飲んでいる方は必ずお申し出ください
- 爪は短く切り、マニキュア、ペディキュア、ジェルネイル、スカルプネイルをされている方は、入院前に落としておいてください
- まつげのエクステンションをされている方は、お知らせください

＜以下のものは病院で貸し出し、購入もできます＞

- ねまき
- 術衣（手術後用）、病衣
- バスタオル　　２枚
- タオル　　２枚
- ティッシュペーパー　　１箱

「ＣＳセットのご案内」冊子を参考にしてください

- 歯磨きセット
- 紙おむつ（マジックテープ式）　　１枚
- コップ、曲がるストローまたは吸い飲み

「入院される方へ」のパンフレットを参考にしてください

＜ご自宅からお持ちください＞

- ビニール袋　３枚
  （靴、パジャマ、下着などを入れるために使います）

＊病衣は普段よりひとサイズ大きいものを準備してください

＊ＩＣＵに入室する方は、タオル、バスタオル、ティッシュなどご自身の持ち物に氏名をお書きください

※同意書がお手元にある方は忘れずお持ちください

医療品ショップ　　くろ～ば～

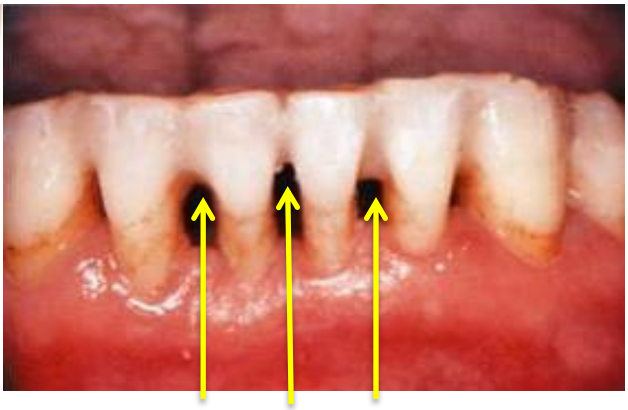
場所　　２階　中央処置室前
営業時間　８：３０～１７：００
定休日　　土・日・祝日・年末年始
電話　　（０８９）９９９-１１２９

手術前の歯科受診について

手術時、手術後のトラブルを防ぐために歯科受診が必要です

1. ぐらつきのある歯への対応
   →全身麻酔の際、気管にチューブを入れるとき、歯が欠けたり抜けたりすることを予防する

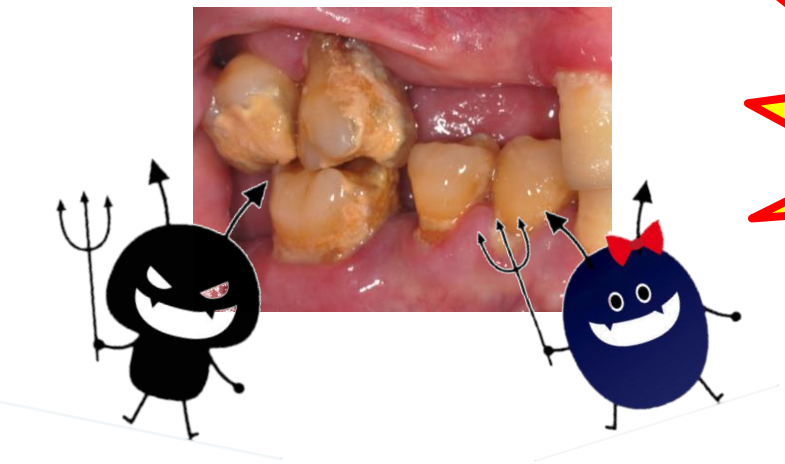
マウスピース作製



歯と歯の間を接着固定

2. 口の中の清掃（歯石取り、入れ歯のチェック）
   →ばい菌が体に悪影響を及ぼすリスクを避ける

手入れの行き届いていない口の中



手入れの行き届いて
いない口の中は
ばい菌でいっぱいです

これまで歯科受診をされていない方は、今後の方針についても相談にのります
「かかりつけ歯科医院」をもつようにしましょう

手術前の機能訓練

体を動かすことにより、痰を出しやすくし、血液循環を良くして傷の治りを早めます
また、腸の動きを良くして、ガスを出すなど回復を早めることができます

●深呼吸

①仰向けに寝て全身の力を抜きます

②鼻から大きく息を吸います

③口からゆっくりと息を吐き出します

　吸う息より吐く息の方を長めにしましょう

●痰の出し方

①傷口を手で押さえる、あるいは脇をしめて、
　小さな咳を２～３回して、徐々に痰を上に
　上げていきます

②最後に少し大きな咳をすると楽に痰を出せます

●うがい

うがいをすることにより、口の中を清潔にしましょう

痰も出しやすくなります

①寝たままで顔を横に向けて、うがいをします

②静かに舌で流しだすようなイメージで水を吐き出します

　このとき飲み込まないように注意しましょう

●体の動かし方

麻酔がさめたら、横向きになってみましょう

手術後に体を動かすことは、痛みをともないつらいと思いますが、

（１）痰を出しやすくする

（２）血液循環を良くして傷の治りを早める

（３）腸の動きを良くしてガスを出す

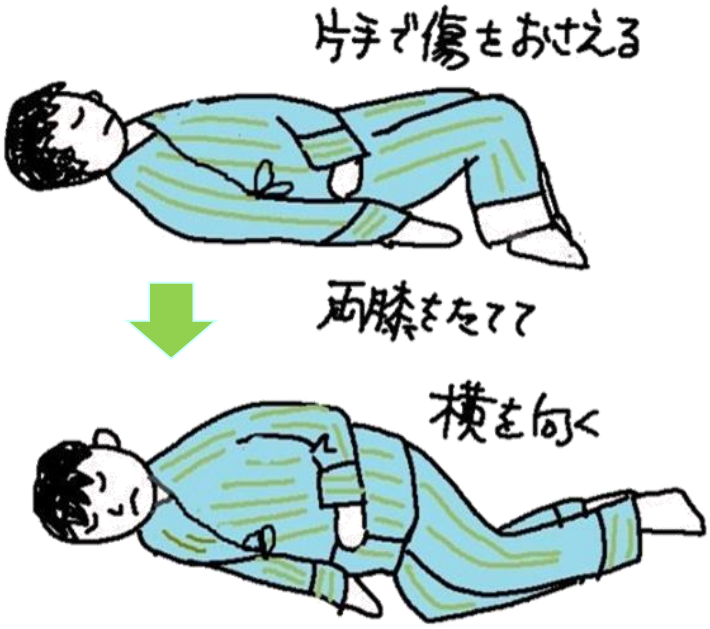
など、回復を早めることができますので、積極的にがんばりましょう

ー横の向き方ー

①傷口を片手で押さえ、両膝を立ててお腹の筋肉をゆるめます

②腰を浮かせて体を向ける反対側へ腰の位置をずらします

③ゆっくりと体を横に向けます



ー起き上がり方ー

①ベッドのリモコンを操作して、ゆっくり９０度まで起こします

②足をベッドから下ろします

③手をベッドについて、ゆっくりと体を起こします

ダイアリー

このパンフレットには、 当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるよう患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は約２週間の予定です

手術後の回復は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともありますが、その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送られるようにサポートさせていただきます

入院日～手術前日　　月　　日～　　月　　日

今日の目標
- 入院生活や手術について医療スタッフの説明が理解できる
- 手術の準備をすすめることができる

＜時間＞	＜予定＞	
11：00	入院	【入院後に以下のことを予定しています】 ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明 （テレビの病院案内も参考にしてください） ・検温、血圧測定、身体測定
12：00	昼食	・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り ・診察後、医師より手術の説明があります ・説明を聞いた後、納得し同意できれば同意書にサインをし、看護師にお渡しください ・わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください ＜活動＞ 活動に制限はありません ＜手術前の準備＞ ・手術に必要な物品の確認 ・手術前の機能訓練 ・シャワー浴をしましょう 手術室の看護師から説明があります ＩＣＵ（集中治療室）に入室する場合は、 ＩＣＵの看護師から説明があります ＜お薬＞
18：00	夕食	・他の病院で処方されたお薬は、一度お預かりします 医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします ・手術前日の２１時頃に安定剤を服用することができます ＜食事＞
21：30	消灯	・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください ・特に制限はありません ・基礎疾患（糖尿病・高血圧等）がある方は、治療食となる場合があります ・手術前日の２１時以降の飲食の制限については、看護師から説明があります

医療スタッフの目標
- 入院生活や手術に対する不安がないよう支援します
- 手術の準備をすすめられるように支援します

手術当日（手術前）　　月　　日

手術前の目標
・予定どおりに手術を受けることができる

＜時間＞　　＜予定＞

飲んだり食べたり
できません

6：00　起床

7：00　検温、血圧測定
医師の指示がある方は少量の水でお薬を服用します
【薬剤名：　　】

手術予定時間が９時以降の方は点滴を行います

手術30分
～1時間前

洗面、歯磨き、トイレを済ませてください
お渡しする手術衣に着替えます
手術時に貴金属を身に着けているとやけどをすることがあります
安全に手術を行うために以下のものは全て外してください

	□ 入れ歯		□ 腕時計
	□ コンタクトレンズ		□ イヤリング・ピアス
	□ 磁気製品・湿布		□ ネックレス
	□ かつら・ウィッグ		□ 指輪
	□ お化粧		□ ブレスレット
	□ つけまつげ		□ ヘアピン
	□ マニキュア		□

※眼鏡をかけて手術室に行く場合は、眼鏡ケースをご準備ください

検温、血圧測定

手術
5分前

看護師と一緒に（　歩行　・　車椅子　・　ストレッチャー　）で
手術室へ行きます
※貴重品は、ご家族の方が保管してください

医療スタッフの目標
・予定どおりに手術が受けられるよう支援します

ご家族の方へ

手術当日は予定時間の１時間前までに病棟にお越しください
手術中は、必ず院内でお待ちください（２階フロア・４階家族控え室など）
必ず所在を明らかにし、連絡が取れるようにお願いいたします
手術後、主治医から手術の結果について説明があります
他の患者さんの手術の関係で、手術後すぐに説明できない場合は
お待ちいただくことをご了承ください

ＩＣＵ（集中治療室）に入室する患者さんのご家族の方へ

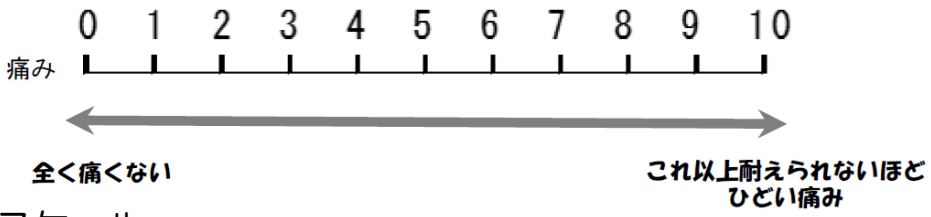
手術が終わりましたら、病棟看護師がＩＣＵへ案内します
手術後ＩＣＵ前室にて医師より手術結果について説明があります
手術当日は来院に３０分以上かかる場合は、患者宿泊施設「向日葵」に
宿泊をお願いしています
＊ＩＣＵ面会時は、患者さん用エレベーターをご利用ください

病室にて付き添いを希望される場合には、医師の許可が必要となりますので、
看護師にお申し出ください
布団のレンタルを希望される場合は、２階　医療品ショップ「くろ～ば～」
でお尋ねください

手術後の痛みについて

手術後の痛みについては、痛みの程度を看護師が数字でお聞きします（ＮＲＳ）
数字での表現が難しいときは、フェイススケールでお答えください

1）ＮＲＳ



2）フェイススケール

がん疼痛コントロールマニュアル参照

手術当日（手術後）　　月　　日

手術後の目標

・痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる

手術後は、時間を決めて以下のことを行います

検温、血圧測定、状態観察

・帰室時、帰室後１５分、３０分、１時間、２時間、３時間、４時間、１９時に行います
（これ以外も必要な時に測定します）

心電図モニター

・手術後４時間ほどは、状態を安全に管理するために心電図モニターを装着します
　＊ＩＣＵに入室の場合は翌朝までの装着となります
・ＩＣＵに入室の場合は、血圧を測定するための点滴の管が動脈に入っています

酸素濃度測定器

・体の酸素の状態を観察するために指先に装着します

酸素吸入・深呼吸

・手術後、４時間ほど酸素吸入を行います
　＊ＩＣＵ入室の場合は翌朝まで行います
・麻酔が完全に覚めるのを助け、手術後の呼吸状態を安定に保ちます
・目が覚めたら大きく深呼吸をしましょう

点滴

・手術のあとは飲んだり食べたりできないため、翌朝１０時まで点滴があります

活動

・手術後４時間はベッド上安静です
　＊ICU入室の場合は翌朝までベッド上安静です
・足首の屈伸や膝立、腕の運動は痛みがない程度に自分で行いましょう
・体を横向きにするときは看護師がお手伝いします
・首は無理に動かさないようにしてください

尿の管

・手術中に尿をとる管が入ります
・手術後４時間経過し、麻酔が覚めて起きられれば尿の管を抜いてトイレへ歩いて行くことができます（初回は看護師が付き添います）
（夜間帯であれば翌朝、尿の管を抜きます）
　＊ＩＣＵに入室の場合は、病棟に戻る前に尿の管を抜きます

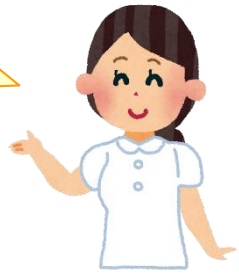
痛み

・痛みを我慢する必要はありません
・痛みが強い場合は追加で痛み止めを使います

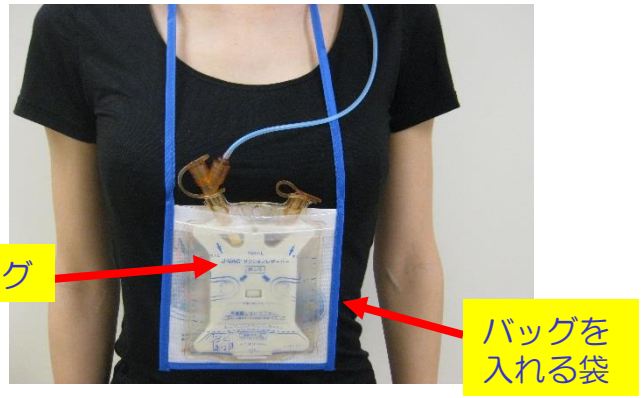
排液のための管

・溜まった血液などを出すために、手術をした部位に管（ドレーン）が入ります

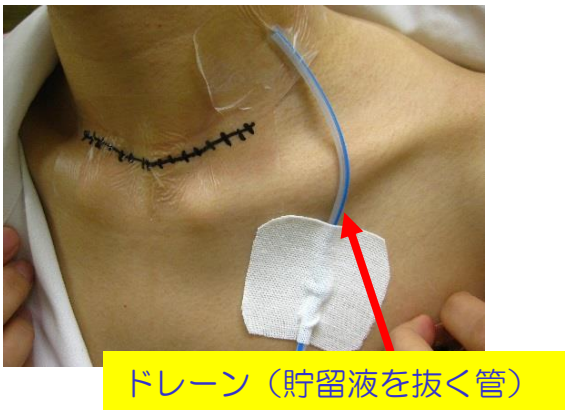
＊ドレーンが入っている間は、腕を高く上げたり
　腕を回したりする運動は避けましょう
＊バッグは袋に入れて持ち運びましょう
　袋に入れることでドレーンにゆとりができます
　つっぱらないようにしましょう
＊着替えをする際は、ひっかけたりしないよう十分に
　注意してください
　ドレーンが入っている間は看護師がお手伝いします



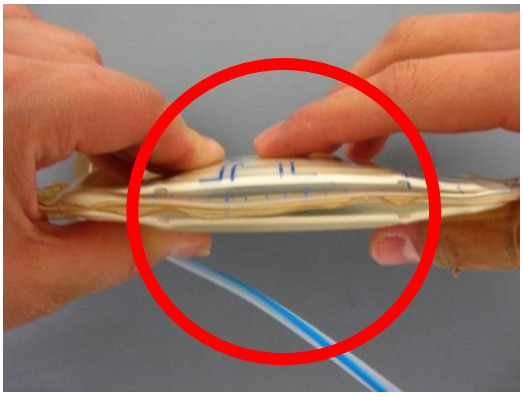
袋に入れて持ち運びましょう！



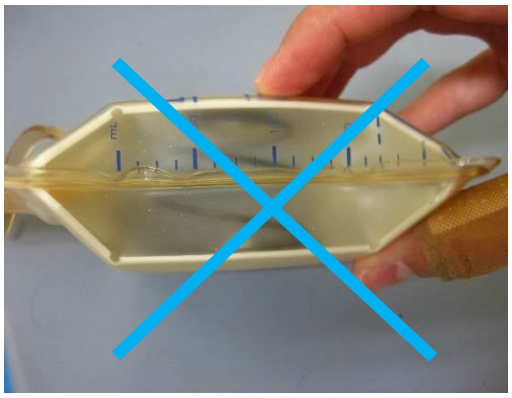
傷の近くに入っています



○　正常：平らな状態



×　異常：膨らんでいる状態



※膨らんでいたら看護師にお知らせください

医療スタッフの目標

・手術後の合併症の早期発見に努めます
・床ずれの予防に努めます

手術１日目　　月　　日

今日の目標

- 痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる
- 食事をむせずに食べることができる
- 手や顔のしびれ、違和感がない
- 病棟内を歩くことができる
- ドレーンの取り扱い方法がわかる

＜時間＞	＜予定＞
6：00	起床 検温、血圧測定 病棟内の歩行に制限はありません ＩＣＵ入室の場合は病棟に戻ってから、病棟内の歩行ができます
7：30	洗面、うがいをしましょう 歯磨き
9：00	診察
	お薬を服用しましょう
	血液検査（血液検査の結果で点滴が追加されることがあります）
10：00	検温、血圧測定
12：00	昼食（５分粥） 食後のお薬を服用しましょう 歯磨き
14：00	検温、血圧測定
	体を拭き、着替えをしましょう 看護師が手伝います
18：00	夕食（全粥） 食後のお薬を服用しましょう 歯磨き
19：00	検温、血圧測定
21：30	消灯

7時頃、看護師が
排液の計測に伺います

順番になりましたら、看護師がお呼びします
病棟の診察室まで歩いておいでください
※ＩＣＵに入室されている方は、ＩＣＵにて診察を行います
診察後、許可があれば、水・お茶を飲むことができます

ドレーンが入っている間は腕を高く上げたり、腕を回したりする運動は避けましょう
また、着替えをする際などはひっかけたりしないよう十分に注意してください
ドレーンのバッグがふくらんでいる場合は、すぐに医療スタッフまでお知らせください

医療スタッフの目標

- 手術後の合併症の早期発見に努めます
- 床ずれの予防に努めます

手術後の合併症について

甲状腺全摘術後は、甲状腺機能低下、副甲状腺機能低下、反回神経麻痺などの合併症が起こりやすくなります

甲状腺機能低下、副甲状腺機能低下について

手術後は、甲状腺、副甲状腺がすべて切除されるため、ホルモンの分泌量が減少します
体の中のホルモン量を一定に保つために、術後１日目より内服薬が始まります
手術後は数か月かけて内服薬の量を調整していきます
必ず医師の指示どおりに服用してください
内服薬について心配なことや気になることがある場合は、医療スタッフにご相談ください

●甲状腺機能低下
心臓に負担がかかり、体がむくむ、疲れやすいなどの症状が現れます
朝食後、甲状腺ホルモン剤を服用します

●副甲状腺機能低下
手足のしびれ、手のこわばりなどの症状が現れます
朝昼夕食後、カルシウム剤を服用します

反回神経麻痺について

反回神経は、声帯の動きをコントロールする役割を持つ神経です
甲状腺の後ろ側を、甲状腺に沿って左右に１本ずつ走行しています
手術により、片側あるいは両側の反回神経が傷ついたり、
切断されたりすると、声帯の動きが不十分となります
片側の損傷では声枯れ、両側の損傷では飲み込みにくさ、むせ、
呼吸困難などの症状が現れます
神経が温存されている場合は、数週間から数か月で症状が改善していきます

気になる症状がある場合は、
医療スタッフにご相談ください

手術２日目～３日目　　月　　日～　　月　　日

今日の目標

- 痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる
- 手や顔のしびれ、違和感がない
- 食事をむせずに食べることができる
- ドレーンの取り扱い方法がわかる

＜時間＞	＜予定＞
6：00	起床 検温、血圧測定 活動に制限はありません
7：30	朝食 食後のお薬を服用しましょう
9：00	診察
10：00	検温、血圧測定
12：00	昼食 食後のお薬を服用しましょう
14：00	検温、血圧測定 下半身のシャワー浴ができます （ドレーンの管を引っ張らないよう注意して行ってください） 洗髪を希望される方はお手伝いします （看護師にお声かけください）
18：00	夕食 食後のお薬を服用しましょう
19：00	検温、血圧測定
21：30	消灯

7時頃、看護師が
排液の計測に伺います

食事が食べにくい、飲み込みにくい場合は、
食事変更ができます

MEMO　　気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 手術後の合併症の早期発見に努めます

手術４日目　　月　　日

今日の目標
- 痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる
- 手や顔のしびれ、違和感がない
- 食事をむせずに食べることができる
- ドレーンの取り扱い方法がわかる

＜時間＞　＜予定＞

6：00　起床
活動に制限はありません

7時頃、看護師が
排液の計測に伺います

7：30　朝食
食後のお薬を服用しましょう

9：00　診察
ドレーンからの排液量が少なくり、色が薄くなったら
診察時にドレーンを抜きます
血液検査

食事が食べにくい、飲み込みにくい場合は、
食事変更ができます

10：00　検温、血圧測定

12：00　昼食
食後のお薬を服用しましょう

下半身のシャワー浴ができます
（ドレーンの管を引っ張らないよう注意して行ってください）
洗髪を希望される方はお手伝いします
（看護師にお声かけください）
ドレーンが抜けたら、翌日から全身シャワー浴、洗髪ができます

18：00　夕食
食後のお薬を服用しましょう

19：00　検温、血圧測定

21：30　消灯

MEMO　気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
- 手術後の合併症の早期発見に努めます

手術５日目　　月　　日

今日の目標
- 手や顔のしびれ、違和感がない
- 食事をむせずに食べることができる

＜時間＞	＜予定＞
6：00	起床 活動に制限はありません
7：30	朝食 食後のお薬を服用しましょう
9：00	診察
10：00	検温、血圧測定
12：00	昼食 食後のお薬を服用しましょう 下半身のシャワー浴ができます （ドレーンの管を引っ張らないよう注意して行ってください） 洗髪を希望される方はお手伝いします （看護師にお声かけください） ドレーンが抜けたら、翌日から全身シャワー浴、洗髪ができます
18：00	夕食 食後のお薬を服用しましょう
19：00	検温、血圧測定
21：30	消灯

7時頃、看護師が
排液の計測に伺います

食事が食べにくい、飲み込みにくい場合は、
食事変更ができます

MEMO　　気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
- 手術後の合併症の早期発見に努めます

手術６日目　　月　　日

今日の目標
- 手や顔のしびれ、違和感がない
- 食事をむせずに食べることができる

＜時間＞	＜予定＞
6：00	起床 活動に制限はありません
7：30	朝食 食後のお薬を服用しましょう
9：00	診察 血液検査
10：00	検温、血圧測定
12：00	昼食 食後のお薬を服用しましょう 下半身のシャワー浴ができます （ドレーンの管を引っ張らないよう注意して行ってください） 洗髪を希望される方はお手伝いします （看護師にお声かけください） ドレーンが抜けたら、翌日から全身シャワー浴、洗髪ができます
18：00	夕食 食後のお薬を服用しましょう
19：00	検温、血圧測定
21：30	消灯

7時頃、看護師が
排液の計測に伺います

食事が食べにくい、飲み込みにくい場合は、
食事変更ができます

MEMO　　気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
- 手術後の合併症の早期発見に努めます

手術７日目　　月　　日

今日の目標
- 手や顔のしびれ、違和感がない
- 食事をむせずに食べることができる

＜時間＞	＜予定＞
6：00	起床 活動に制限はありません
7：30	朝食 食後のお薬を服用しましょう
9：00	診察 傷の抜糸を行います
10：00	検温、血圧測定
12：00	昼食 食後のお薬を服用しましょう 下半身のシャワー浴ができます （ドレーンの管を引っ張らないよう注意して行ってください） 洗髪を希望される方はお手伝いします （看護師にお声かけください） ドレーンが抜けたら、翌日から全身シャワー浴、洗髪ができます
18：00	夕食 食後のお薬を服用しましょう
19：00	検温、血圧測定
21：30	消灯

7時頃、看護師が
排液の計測に伺います

抜糸後、看護師からテーピング方法の説明があります
退院までに一度ご自分でテーピングをしてみましょう
（はじめは看護師が一緒に行います）

食事が食べにくい、飲み込みにくい場合は、食事変更ができます

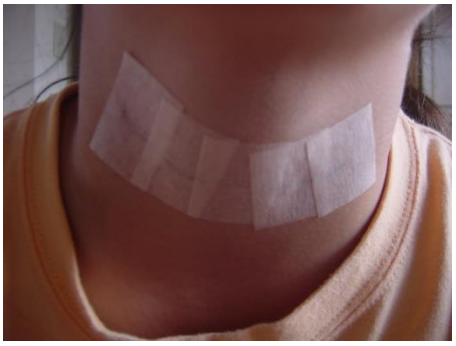
MEMO　　気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
- 手術後の合併症の早期発見に努めます

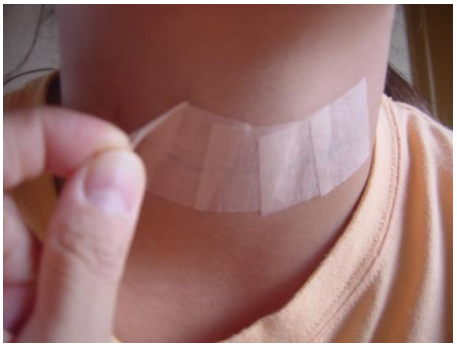
抜糸後のテーピング

術後７日目の抜糸後、傷あとにテープを貼ることで、赤く盛り上がる状態（ケロイド）になったり、傷あとが幅広くなることを防ぐことができます
マイクロポアという幅２５mmうす茶色のテープを２階「くろ～ば～」で販売しておりますので、抜糸が済みましたらご準備ください
貼り方は、看護師が説明します

《テープの貼り方・はがし方》



- テープを３～４㎝の長さに切ったものを数本準備します
- 傷あとに直角になるように貼っていきます
  そのとき、隣のテープに少し重なるように
  傷の端から端まで貼っていきます
- 重なっているテープの一番下になっている方から
  はがすとつながってはがれていきます



- はがすときは、傷と平行に引っ張り
  もう一方の手で傷が引っ張られないように
  保護しながらはがしてください

テープの貼り替えは、３～４日です
はがれがなくしっかり貼れているのであれば、１週間までそのままでもかまいません
入浴は、テープを貼ったままでかまいません
貼り替える日に入浴される場合は、全部はがして入浴をし、皮膚をきれいにしてから貼りましょう
傷のまわりは優しく洗いましょう
※赤くなったり、痒くなったら、テープかぶれをおこしている可能性があります
そのまま、テーピングをしていると悪化してしまいますので中止してください

手術８日目以降　　月　　日～

今日の目標
- 手や顔のしびれ、違和感がない
- 食事をむせずに食べることができる
- テーピングの方法がわかる
- 日常生活の注意点について理解できる

＜時間＞	＜予定＞
6：00	起床
7：30	朝食 食後のお薬を服用しましょう
9：00	診察 血液検査（８日目）
10：00	検温、血圧測定
12：00	昼食 食後のお薬を服用しましょう ドレーンが抜けたら、翌日から全身シャワー浴、洗髪ができます 退院までに一度ご自分でテーピングをしてみましょう （初めは、看護師が一緒に行います） 退院前日には、看護師が退院後の日常生活について説明を行います
18：00	夕食 食後のお薬を服用しましょう
21：30	消灯

MEMO　　気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
- テーピングができるよう支援します
- 退院後の日常生活に不安がないよう支援します

退院日　　月　　日

今日の目標
- 手や顔のしびれ、違和感がない
- 食事をむせずに食べることができる
- 日常生活の注意点について理解できる
- 退院できる

＜時間＞	＜予定＞
6：00	起床 検温、血圧測定
7：30	朝食 食後のお薬を服用しましょう 「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けします ２階窓口でお支払い終了後、病棟まで連絡票をお持ちください お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします 次回外来予約票をお渡しします
10：00	退院 退院前に忘れ物がないようご確認ください

次回外来受診は

月　　日（　　）時の予定です

＊外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります

MEMO　　気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
- 退院後の日常生活に不安がないよう支援します

退院後の日常生活について

●食事

栄養のバランスに気をつけましょう
原則的には食事の内容に制限はありません
薄味を心がけましょう

●排泄

規則的な排便習慣をつけることが大切です
朝食後、トイレに行く習慣をつけましょう
軽い運動や水分をとるように心がけましょう

便秘気味の方は、退院までに医療スタッフと対処方法について相談しておきましょう

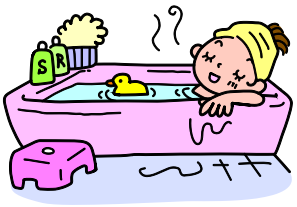
●活動

規則正しい生活をして、適度な運動をしましょう
まずは軽い散歩や買い物から始めてみましょう
徐々に活動量を増やしていき、疲れないように調節しましょう
長時間の自転車やバイク・自動車の運転は十分に気をつけ、徐々に慣らして
いきましょう

活動について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください

●入浴

体を清潔に保つことが大切です
入浴は、特に制限はありません
今までどおりでかまいません



●テーピング

退院後３か月間はテーピングをしてください

●お薬

薬は、医師の指示どおりに服用してください

他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください

●仕事

重労働はしばらく避けるようにしましょう

仕事を開始する時期や内容については、医師と相談しながら決めていきましょう

これから先、安心して働き続けるためには、体の状態に合わせた休み方や働き方が必要になることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」をサポートしています

私たちと一緒に考えていきましょう

ちりょうさ
厚生労働省『治療と仕事の両立支援』キャラクター

【相談窓口】
がん相談支援センター相談員
・医療ソーシャルワーカー、看護師
＜出張相談＞
・ハローワーク松山就職支援ナビゲーター
・両立支援促進飲（社会保険労務士）

ご相談は、がん相談支援センターへお問合せください

●その他

定期受診は必ず受けるようにしましょう

声が出にくい、飲み込みにくいなどの
気になること、心配なことがあれば
何でもお尋ねください

MEMO　　気になることや症状など書き留めておきましょう

・傷が赤くなったり、腫れたりしたとき
・傷から出血があるとき
・手足のしびれがしばらく続くとき
・食事や水分がとれないほどの吐き気や嘔吐が続くとき
・下痢が続くとき

上記のような症状がある場合やご心配なことがある場合は、
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】　８：３０～１７：１５
四国がんセンター　がん相談支援センター
（直通番号）　０８９-９９９-１１１４

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
（代表番号）　０８９-９９９-１１１１

＊外来受診日や検査予約日の変更については、
予約センターにご連絡ください
【平日】　８：３０～１７：１５
（直通番号）　０８９-９９９-１１１２

甲状腺全摘術を受けられる方へ